

令和４年度第１回青森市国民健康保険運営協議会 会議概要

開催日時 令和４年１２月２１日（水）１９：００～２０：１５

開催場所 青森市役所柳川庁舎 ２階 大会議室

出席委員 山上秀夫委員、工藤徳弘委員、野尻薫委員、工藤育男委員、
小谷健児委員、成田昌穂委員、外館佳子委員、船木昭夫委員、
平田留美委員、大鰐恭子委員、工藤達也委員、加藤宏臣委員、木村敏賢委員
＜計 13 名＞

欠席委員 穴水由利子委員、成田昭子委員

事務局 税務部長 川村敬貴、税務部次長 柴田一史
税務部国保医療年金課長 小鹿正憲
保健部青森市保健所健康づくり推進課長 種市靖子
浪岡振興部健康福祉課長 新宅雅之
税務部納税支援課長兼納税相談センター所長 松本和久
国保医療年金課主幹 小豆畑洋、国保医療年金課主幹 坂本佳子
国保医療年金課主幹 齋藤優、国保医療年金課主幹 佐々木晶
保健部青森市保健所健康づくり推進課主幹 山上千鶴
国保医療年金課主査 平井琢哉、国保医療年金課主査 横内智徳
国保医療年金課主査 花田公、国保医療年金課主査 中山満美子
国保医療年金課主査 西村麻依子、国保医療年金課主事 小鹿美波
＜計 17 名＞

会議次第

- １ 開会
- ２ 組織会
- ３ 市長挨拶
- ４ 諮問
青森市国民健康保険税（介護納付金）に係る算定方式の見直しについて
- ５ 諮問事項審議
- ６ その他
- ７ 閉会

議事要旨

諮問事項「青森市国民健康保険税（介護納付金）に係る算定方式の見直しについて」の審議

事務局から諮問書及び資料１～資料５について説明をした。

意見、質疑応答

○委員

県の交付金の増額は、1 か年度限りになるのか。

○事務局

令和5年度、6年度の2か年の増額によって、保険税が減収となる分の10年分くらいは確保できるのではないかと見込んでおり、その頃までには保険税水準の統一が図られるのではないかと考えている。

○委員

令和7年度の保険税の算定方式統一後、保険税水準の県内統一に向けては、今後、どのような動きになるのか。

○事務局

県から保険税水準の統一に関する目標年次は示されていないが、県の下に市町村が参加する連絡協議会があり、その中でワーキンググループを作って検討していく予定となっている。

○委員

令和5年度の予算編成過程において見込まれる医療需要等によっては、今回示されている税額が変動することはあるのか。

○事務局

現在のところ税率変更は考えておらず、当面はこの税率で運営していくことができるものと見通している。

○委員

今回の算定方式の見直しにより被保険者の税負担が減るケースもあり、市の税収としては減るものの、交付金で補うことができるのであれば、この見直し内容でいいのではないか。

○委員

特に増税になるわけでもなく、上手く税負担を抑えてくれたと思う。

この見直し内容に対する基本的な考えとしては、被保険者の税負担を増やさない、不利益にならないということになっていて、なるほどと感じている。